



社会福祉法人愛知いのちの電話協会

# 名古屋いのちの電話

<http://www.nagoya-inochi.jp/>

愛知いのちの電話協会愛知県弁護士会より

## 第24回人権賞受賞



愛知いのちの電話協会は、2月12日、愛知県弁護士会設定の「第24回人権賞」を受賞しました。同賞は、見返りや名声を求めることなく、人

権擁護活動に献身的に努める人や団体に贈られるもので、授賞式では、小山勇理事長が、瀬瀬和義愛知県弁護士会会長から、賞状、賞額、金一封（20万円）を受け取りました。

小山理事長は、謝辞の中で「権威ある賞を頂き、感謝するとともに、日夜を問わず活動する相談ボランティアにとって、大きな励みになります」と述べました。





# 子どものいのち、生き方を守るために

## ～子どものパートナーの視点から～

弁護士 多田 元

### 1 はじめに

いま、日本の社会で暮らしている子どもたちは、格差社会、無縁社会と言われる社会基盤がゆらぐ問題が噴出する状況のなかで、家庭や学校という場でいのちの尊厳を脅かされたり、成長していくのに必要な居場所を失っていたり、いのちの危険にもさらされることが、子どもの虐待、いじめ、思春期の自殺などという問題として現れてきている。まさに、子どもいのち、生き方を守るというテーマで、愛知のいのちの電話の公開講座という大切な場にお招きいただき、子どもの人権を守るという視点から子どもを支援することを仕事の中心にしている者として、現場で日ごろ感じたり、考えたりしていることをお話させていただいた。

本稿はその要旨をまとめたものである。

私は裁判官に任官して、19年余り勤める間、通算10年間家庭裁判所で少年審判を担当したが、そこで出会った少年たちは、多くが生まれてからまだ十数年という短い人生を劣悪な環境で育ち、家庭でも親などから虐待を受けていたり、大人の不適切な扱いを受けて心傷ついた子どもだった。少年は、非行の場面では加害者であっても、それ以前にさまざまに傷ついた被害者の側面を背負って生きてきた人だということにすぐに気づかされた。そんな少年も、その被害者の面を理解され、受け容れられ、家庭裁判所のケースワーク的な援助によって安心できる生活の場を確保されると、人間不信と不安で閉ざした心を徐々に開くことができるようになる。自分の存在と価値を大切にされることを感じて、自己肯定感を回復していくなかでこそ、非行という過ちが、他者に対しても、何より自分自身に対しても有害な行いだとい

うことを理解し、反省して、責任を自覚したうえで償いを実践することもできるようになるほど成長していく。これを教科書には、少年の可塑性と書かれているが、そのような少年の姿を実際に見る多くの経験をした。自己肯定感を失って、人間不信と不安に陥っている子どもが、やってしまった過ちの結果を責められるだけでは、心を閉じてしまうばかりで、そこからは自分が傷つけてしまった被害者への共感や思いやりなどもつ余裕もなく、ただ殻を固くして自己防衛になるばかりで、過ちに対する本当の反省も不可能だろうと思う。そういうことから、少年のパートナーになって、自立、更生を支援する弁護士になりたいと考えた。

少年法は、非行をした少年に対する司法的救済の場であるはずだが、昨今は、子どもの視点に立った公正さを失い、少年に対し非行の結果の責任を問い、裁く場に墮落しているように思われる。

### 2 ある少年事件

10年前、14歳の男子中学生の附添人として弁護を担当した。彼は学校では先生に反抗し、家庭では親に反抗して、色々とトラブルを起こし、彼にとってはわずか14年の人生で最悪の状態のときに少年鑑別所で出会った。幸い少年院には送られなかったが、印象に残る少年で、その後、定時制高校に入ったと聞いていた。その事件から5年余り過ぎたころ、彼から大学に合格したという報告の手紙を受け取った。その手紙には別に短い文章が同封されていた。「未来の私へ」と題する文である。

「私は過去に大きな過ちを犯し、多くの人々に多大な迷惑をかけてきた。だが、そのような私を見捨てずに、支えていただき、そして信じ

てくださった人達がいた。まだ若かった頃、私は学がないばかりに、心の底からこみあげてくる感情をうまく言葉に表すことができなかつた。そしてある弁護士に会い、その人が私の思いを代弁してくれたとき、私は深い感銘を受けた。そのときから弁護士という職業に憧れを抱いていたが、人生で学問に励んだことのない私が最難関の司法試験を突破できるわけがないとあきらめていた。そんなとき、Fという人に出会った。(定時制高校の先生) その人は私に「おまえは大学に行く人間だ」などの数々の言葉をかけてくださいました。私は魂を揺さぶられた気がした。そして、大学受験を志し、Fさんから学ぶ日々が始まった。

今でも忘れない。This is a pen 私が初めて読んだ英文だ。あの日から1年半がたち、私は東京の大学に合格することができた。大学で4年間、誠実に学問に励み、法科大学院に進学し弁護士になりたい。困難にぶつかることもある。だが人生は山上に山あり、山また山。一步一步で良いから歩まねばならない。未来の私へ。」

この十代最後の年に志した信念を忘れないでほしい。自分のためにも他人のためにも。

彼は、心の底からこみあげてくる感情を言葉に表すことができなくて、やりきれない気持ちで日々を送っていたこと、弁護士が自分の思いを代弁してくれたと言っている。一昨年秋、彼から久しぶりに電話があった。それは、弁護士への登竜門である法科大学院に合格したという報告だった。彼は、「僕も弁護士になって、子どもの人権をやりますよ」というので、「おう、頼んだよ」と応えたが、後生畏るべしの言葉が頭に浮かんだ。彼を押さえつけ、排除しようとした中学校の教師たちには、いまの彼の姿は想像もできないだろう。目の前にいる子どもひとりひとりが底知れない可能性を秘めているということを決して忘れてはならないと思うのである。

### 3 痛恨の相談ケース

一生忘れられないし、忘れてはならないと思っているケースがある。弁護士5年目のころに出会った女子高生だった。彼女は1歳のとき父母が

離婚、父親と父方祖母に育てられた。父親はアル中で、貧しかった。高校進学の前日に祖母が病死(老衰)、その後に父親が自宅で自殺した。彼女は里親に委託され、高校に進学したが、祖母と父の死が自分の責任だと感じてしまい、カウンセラーが同行して私に相談に来た。私は法的にも倫理的にもあなたの責任ではないと助言をし、彼女はニコリ笑顔を見せてくれた。翌日、カウンセラーから、明るい表情で落ち着いたというお礼の電話があった。その2週間ほど後に、彼女はビルから飛び降りてしまった。私は、父や祖母の死を自分の責任と感じるという彼女の言葉の背景をもっと考え、その言葉の重さを思うべきだったのに、世間一般の大人の常識で回答をただけだったのでないかと聴き方の甘さ、見通しの甘さを深刻に反省した。

子どもはときとして、生と死の境目を歩いているものである。子どもの相談は、そのいのちと向きあっているのだということ忘れてはいけないことを肝に銘じて、彼女のファイルは、今もケースファイルに並べて書庫に残し、忘れないように戒めにしている。

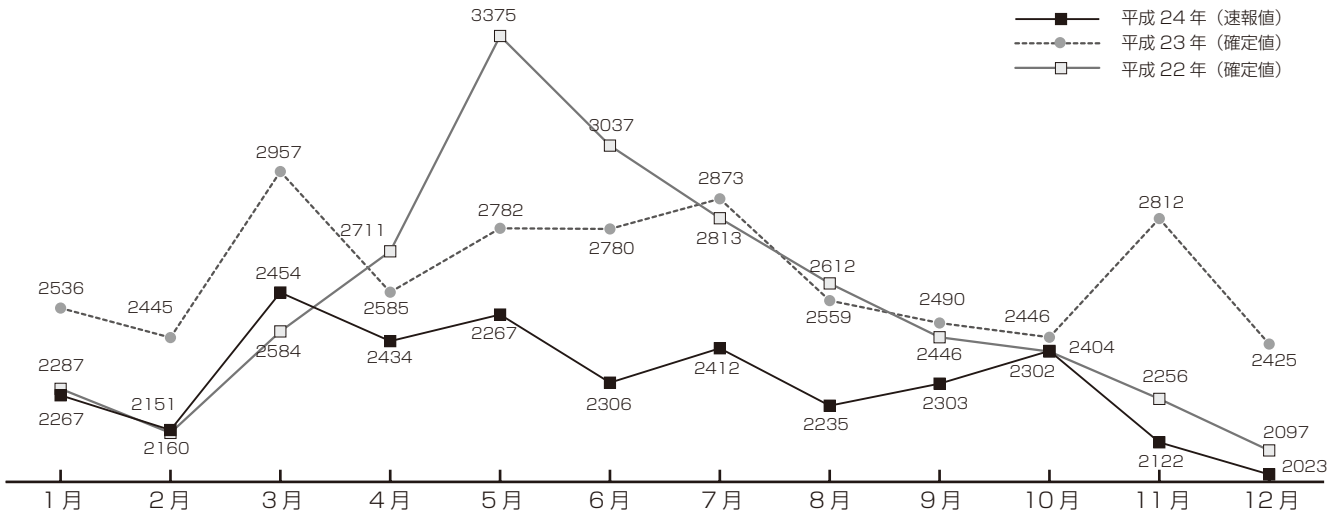
本来、子どもたちは感じたままをステキな言葉にして素晴らしい表現をしたりもできるものであるが、つらい状況のもとでは、言葉にできなかったり、自分の感情さえ把握できない。だから、ひとりひとりの子どもの相談を受けるときにも、その子どものうしろには、無数の子どもたちの声なき声があることを意識し、その子どもたちの声を聴くことに心を傾けるべきだと考えている。

### 4 子どもの視点に立った支援のために

子どもを支援するには、①子どもを信じる力、②子どもを温かく見守る力、③子どもに耳を傾ける力(聴く力)が必要だと思う。いま、大人たちは、その力が弱くなっているのではないだろうか。大人は子どもとのパートナーシップによって、共に生き、共に育つという発想が必要とされていると考える。

### 2012年1月～12月受信状況ご報告

全国の月別自殺者数の推移 (平成25年1月 警察庁公表分)



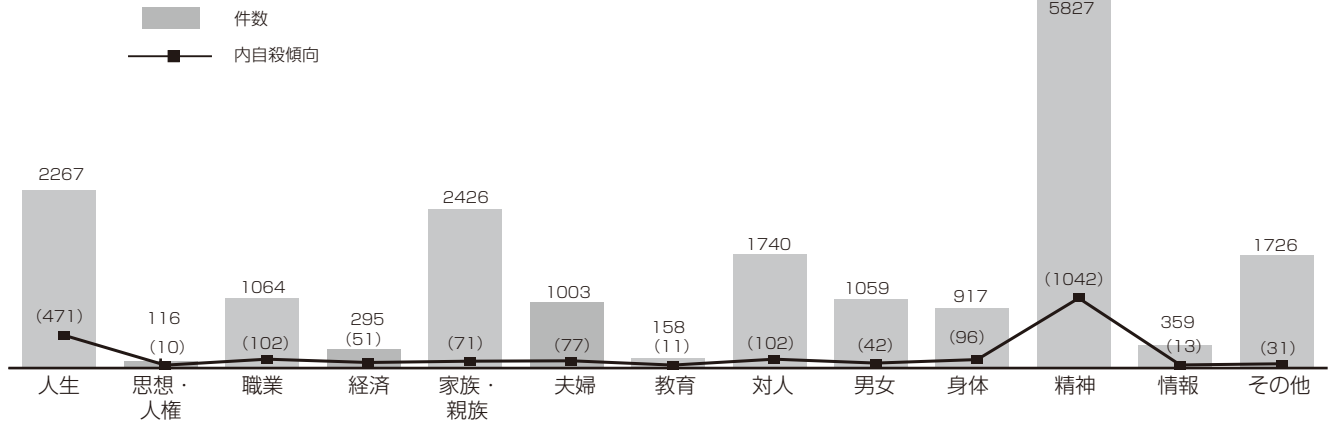
○平成24年年間の累計自殺者数は27,766人(速報値)対前年比は-2885人(-約9.74%)です。

15年ぶりに2万人台に減少しました。

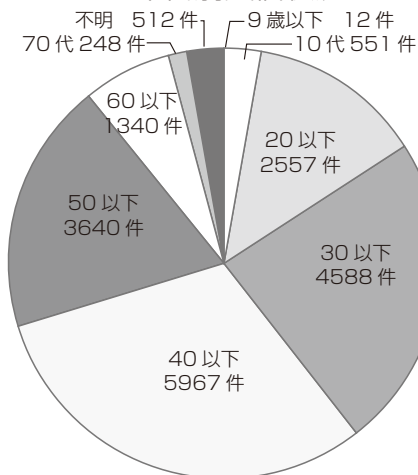
○名古屋いのちの電話の平成24年総受信件数は20,672件(通常ダイヤル19415件、フリーダイヤル853件 震災ダイヤル404件)でした。

#### ◇通常ダイヤル受信状況

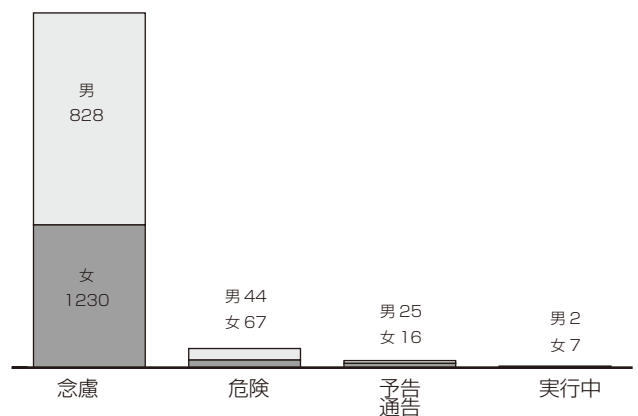
内容別受信状況



年代別受信状況



男女別自殺傾向



## ◇自殺予防いのちの電話相談状況

(毎月10日24時間・フリーダイヤル)

項目	内訳	男	女	計
性別	男	517	0	517
	女	0	336	336
年齢	9歳以下	1	0	1
	10代	20	12	32
	20代	42	43	85
	30代	132	85	217
	40代	125	101	226
	50代	114	59	173
	60代	49	21	70
	70代以上	6	6	12
	不明	28	9	37
学業・職業	小学生	3	0	3
	中学生	3	7	10
	高校生	13	2	15
	学生	9	5	14
	有職	131	70	201
	無職	285	232	517
	不明	73	20	93
身体疾患	なし	335	243	578
	歴あり	16	8	24
	疑いあり	23	12	35
	治療中	63	53	116
	不明	80	20	100
精神疾患	なし	154	82	236
	歴あり	18	23	41
	疑いあり	89	47	136
	治療中	182	167	349
	不明	74	17	91
生活形態	独居	249	123	372
	同居	179	186	365
	不明	89	27	116
自殺傾向	なし	393	256	649
	念慮	84	57	141
	危険	3	8	11
	予告・通告	5	0	
	実行中	0	4	4
	不明	32	11	43
自殺未遂歴	なし	425	273	698
	あり	39	42	81
	不明	53	21	74
情報入手方法	新聞	11	10	21
	取材記事	0	1	1
	その他	10	17	27
	ラジオ	3	1	4
	テレビ	6	0	6
	ポスター・カード	17	12	29
	インターネット	38	16	54
	いのちの電話	100	63	163
	医療機関	27	21	48
	不明	303	194	497
	サラリーマン	72	23	95
自営業	15	2	17	
パート	20	30	50	
有職種類	フリーター	14	6	20
	無職失業	260	144	404
	主婦	9	64	73
	不明	124	66	190

\*自殺予防いのちの電話は全国からの電話に対応しています。

\*震災ダイヤルは東北大震災被災地を対象に全国のセンターが交代で毎日13時から20時まで対応にあたっています。

## ◇震災ダイヤル相談状況

(東北大震災被災地フリーダイヤル)

項目	内訳	男	女	計
性別	男	232	0	232
	女	0	172	172
年齢	9歳以下	0	0	0
	10代	8	1	9
	20代	12	10	22
	30代	25	48	73
	40代	79	56	135
	50代	60	13	73
	60代	26	24	50
	70代以上	1	8	9
	不明	21	12	33
学業・職業	小学生	0	0	0
	中学生	3	1	4
	高校生	2	0	2
	学生	0	0	0
	有職	52	41	93
	無職	86	95	181
	不明	89	35	124
身体疾患	なし	147	136	283
	歴あり	2	3	5
	疑いあり	2	5	7
	治療中	13	8	21
	不明	68	20	88
精神疾患	なし	111	83	194
	歴あり	2	6	8
	疑いあり	16	16	32
	治療中	34	45	79
	不明	69	22	91
生活形態	独居	84	84	168
	同居	73	67	140
	不明	75	21	96
地域	岩手県	68 (携帯31)		68
	宮城県	117 (携帯35)		117
	茨城県	38 (携帯7)		38
	福島県	76 (携帯40)		76
	不明・その他	105 (携帯39)		105
		なし	175	148
自殺傾向	念慮	19	13	32
	危険	2	1	3
	予告・通告	0	0	0
	実行中	0	0	0
自殺未遂歴	不明	36	10	46
	なし	178	148	326
	あり	5	6	11
情報入手方法	不明	49	18	67
	新聞	14	13	27
	取材記事	0	0	0
	その他	9	8	17
	ラジオ	4	0	4
	テレビ	1	1	2
	ポスター・カード	4	1	5
	インターネット	1	2	3
	いのちの電話	14	15	29
	医療機関	7	9	16
	不明	178	123	301
有職種類	サラリーマン	15	8	23
	自営業	4	6	10
	パート	12	16	28
	フリーター	3	1	4
	無職・失業	73	37	110
	主婦	3	43	46
	不明	122	61	183

\*名古屋センター2012年1月～12月受信の資料です。

## 退任にあたり

### 相談員を退くにあたって

相談員 S・G

17年間務めてきた相談員の役割を終えることとなりました。名古屋で8年、東京で9年、よく続けられたのだと感慨深いものがあります。

東京時代、先輩相談員から言われた「続ける事が大切です」という言葉に励まされ何とか今日迄続けられました。昨年は自殺者が15年ぶりに3万人を下回りましたが、相談員の果たす役割は今後ともますます重要性が増すものと思います。

最近相談員が家族の介護のため担当回数を減らしたり、相談員そのものの減少もあります。

新たに相談員を目指す、意欲ある方々が増えてこられることを心より願っております。

長い間お世話になり本当に有難うございました。

### 定年を迎えて

相談員 A・H

相談員として27年余り、多くの方々にお教えをいただき、お支えをいただいております。相談電話に向かうと、妻でもなく母でもなく名前もないその時の私自身が立ち上がります。そして、受話器を取るとこんなことを思います。今、この一本の電話線で掛けてきたあなたと私はつながっています。なんと不思議なことでしょう。どうぞ思いのままに話して下さい。心して聴いていますよ。受話器を置くと、あれこれ至らぬ点に気づき落ち込んでしまいます。たまさか「今日は話せて良かった。すこし楽になりました」との声にすこし安堵します。このようなことを繰り返し今日を迎えました。私の大切な時間でした。皆様に心より感謝申し上げます。

### 「ふり返って思うこと」

相談員 H・S

「いのちの電話」という社会的にも認知された看板に、安心して電話をかけてこられる利用者さんの信頼に応えられるよう、毎回真摯な気持ちで受話器を取ってきたつもりです。

思いっきり話をぶつけてきた利用者さんに対し、私が何か言おうとすると、全身を耳にしているかのような緊張感を感じる時があります。

そんな時、私も慎重に言葉を選びます。目に見えないだけに声や言葉の持つ力が大きいと思うの

です。

最近宣伝が効を奏してか、何故ここへと思われるような相談内容もありますが、まずは、「ようこそ」の気持ちで話を聴かせていただく事ではないかと思えます。

### 「電話相談活動を顧みて」

相談員 M・I

古希を迎え、5年6か月行った電話相談活動を終えることになりました。

この間を顧みますと、楽しかったこと、辛かったことが蘇り、やっと卒業できるのかと嬉しく思えたり、もう電話相談を行うことができないのかと寂しく感じたりしています。

定年まで、相談活動ができたのは、皆様方や事務局の方々のお蔭であると感謝しております。

電話利用者に対して十分な相談活動ができたかどうか分かりませんが、私なりに、夢中になって行ってきました。このことにより、私自身が利用者から成長させていただいたり、元気づけられてきたと思っています。この間、「今、手首を2度切り出血中です」「もう死ぬしかありません」などと緊迫した事例に遭遇したこともありました。

一つ残念に思ったことは、折角、相談員になっても途中でやめる人の多いことです。16期生も半分以下になってしまいました。このため、定年まで相談活動が行えるよう相談員の人間関係や待遇などの改善をより行うことが大切だと思います。

どうか、みなさん、定年まで頑張ってください。

### 「いのちの電話の相談員として」

相談員 K・S

受話器の先に聞こえてくる声は、ある時は弱々しく話すのも大儀そうな方、最初から泣き声で話し辛さを吐露する方、一人ですっと話し続ける方等、多くの声を聴かせて頂いている。本当に「聴けた」かどうかは分からないけれど・・・。

長く病んでいてしかも家族も友人もいない。電話線一本が外界や社会との唯一のつながりであり、会話ができる機会と言う方々を知らされた。

「いのちの電話」が、人の命と存在を支える大切な働きをしていることを、日々確認している。その働きの場に参加できたことを感謝している。

## ご援助ありがとうございます

2012年11月1日より2013年1月31日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長 小山 勇/財務委員会

### 賛助会員 A

聖霊奉侍布教修道女会 檜尾一 永井洋子 豊田彬子 興徳寺・佐久間順敬 出口芳巳 出口美津江 森宣子 小嶋洋一 永澤寺・岡島博司 大矢道 榎本和 飯尾啓子 鷗野秋信 大槻剛康 小笠原覚 北郁子 宮之原弘 下村徹嗣 名古屋学院大学キリスト教センター

### 賛助会員 B

竹村絹子 佐々木広子 黒田忠嘉 杉山志乃 加藤峯子 山口和子 豊島徳三 伊藤まり子 笠井康助 鳥居平和 菅原美智子 柳澤幸輝 寺田仁計 金森タイ 高橋青子 平井瑞子 青山玄 粕谷靖彦

### 賛助会員 C

阪田敏子 太田立男 北条とく子 武嶋恵子 伊藤総俊 藤井恵 浅野喜代子 安田まゆみ 鬼頭洋子 小川浩 熊沢豊 近藤多美 宮川かをり 中出智恵子 河田いさを 福田佳代子 野村妙子 江口光一朗 江口由梨 早川ちとせ 服部伸枝 飯塚悦子 山下タカ子 佐藤嘉孝 小川義雄 小川マリ子 鹿島雅世 栗田昌子 加藤美香

### 法人会員

松岡特殊鋼株式会社 武田機工株式会社 矢作建設工業株式会社 株式会社サンゲツ 東朋テクノロジー株式会社 (株)東海理化 株式会社東海通信資材サービス 株式会社高木製作所 アサダ株式会社 井元産業株式会社 タキヒヨー株式会社 社団法人名古屋中村法人会 東海東京証券(株) 株式会社東郷製作所 株式会社フジトランスコーポレーション 株式会社大竹製作所 天野エンザイム株式会社 豊田通商株式会社 トヨタ自動車株式会社 愛三工業株式会社 株式会社三晃社 社会福祉法人中部善意銀行 株式会社LIXIL テンプスタッフ・ピープル株式会社

### 寄付・個人

永井洋子 伊藤美佐子 鰐部可壽子 藤井恵 江口志のぶ 野崎雅子 松本勝正 小川邦泰 近藤直枝 水野真子 安崇雄 井上靖一郎 藤野宏之 井上良郎 梅田恵子 福岡智子 豊田江美 中西誓子 末本まき 相馬幸子 乾純子 宮里及子 鈴木栄子 西山えつこ 松岡文子 井上美千代 寺西一雄 加藤倫子 加藤峯子 江尻けい子 関谷恵子 竹中夏子 神田喜代子 山中輝弓 浅野美津子 高橋勝人 木村道男 石川とみ子 亀谷みどり 野村純一 加藤みゆき 長岡利貞 小枝清子 岡本博子 福井志保 瀬戸口マサ子 吉田加代子 希代美代子 村井みほ 久野泰子 渡辺直人 上田きよ 加藤厚子 加藤明宏 坂浦正輝 熊沢豊 高橋紀代子 服部昭子 舟越洋子 浅野恵美子 望月千年成 杉藤はる子 しみずさとし 福井志保 八木武志 匿名9

### 寄付金・協力団体

株式会社オテックス 株式会社みどり造園 川北電気工業株式会社 日本キリスト教団鳴海教会婦人会 名古屋聖マタイ教会 聖心同窓会東海支部 カトリック平針教会 在日大韓基督教会名古屋教会女性会 日本キリスト教会名古屋東教会婦人会 幼き聖マリア修道会 社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団

### クリスマス募金・歳末募金

橋本良男 阪田敏子 泰良真理子 水谷美智子 石井八重子 松隈鈴子 太田立男 水野愛子 中川幸子 中川則子 竹内宏子 山本幸江 日本基督教団熱田教会めぐみ会 梨本將代 西村清 菊池幸子 大橋玲子 森宣子 高橋孝子 山下志津代 岩田邦子 森田浩子 鈴木郁雄 日本キリスト教団愛知教会 梶原波子 豊田江美 平田たづ子 白田治子 浅野喜代子 鬼頭洋子 石園和枝 岩田鉦一 谷口明 河田いさを 大矢道 太田真知子 鷺津メリー 澤村幸子 ドミニコ会聖ヨゼフ修道院 村瀬政子 中谷聖子 高橋ひとみ 中村かつ代 平尾泉 伊藤まり子 中野悦美 堤肇 聖パウロ女子修道会 聖心の布教姉妹会鳴海修道院 小坂橋秀行 カトリック南山教会 カトリック聖マリア在俗会 五藤昭子 岡崎和子 日本キリスト教団豊山教会 渡辺香代子 水谷吉子 下谷定司 金森タイ 日本キリスト教団岡崎教会 日本キリスト教団半田教会 聖心会修道院 カトリック半田教会 日本キリスト教団天白教会 西野三緒子 青木栄一 日本基督教団春日井教会婦人会 日本キリスト教団名古屋東教会 カトリック瑞浪教会 名古屋ステバノ教会 カトリック日比野教会 日本基督教団南山教会 宮内英夫 尾関静枝 日本キリスト教団豊田教会 小島初江 下村徹嗣 日本基督教団愛知守山教会 中谷塩子 日本キリスト教団中京教会 日本基督教団名古屋中央教会 日本キリスト教団広路教会 日本キリスト教団鳴海教会 名古屋YWCA 日本基督教団東海教会 社会福祉法人聖霊病院(金沢) カトリック小牧教会

## 友の会だより

友の会は相談員やボランティア（現役を含む）の集まりで、会員相互の交流親睦をはかり、名古屋いのちの電話の活動を応援することをねらいとしています。従来は見学会・勉強会が主でしたが、

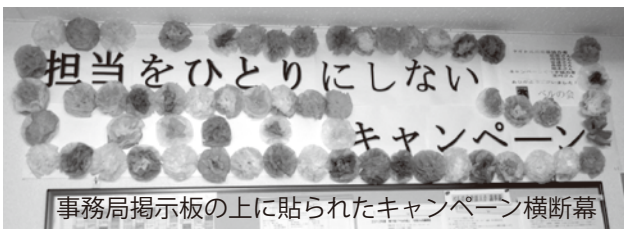
新たに5階の図書室を整備し、その管理運営を担当し、加えて電話相談・自殺予防の図書・文献を集め、この問題についての情報センターを目ざします。ご協力をお願いします。（文責：長岡）

## 事務局だより

### いのちの電話東海ブロック研修会

1月27日(日) KKRホテル名古屋において、いのちの電話東海ブロック研修会が行われました。静岡・浜松・岐阜・三重・名古屋の5つのセンターの代表者が集まり、活動報告や研修内容、相談員の養成等について熱心に情報交換がなされました。名古屋からは、兼田事務局長はじめ、河村事務局次長、事務局スタッフ全員が参加しました。

### 担当を一人にしないキャンペーン



ベルの会（相談員の会）の世話人会で、今年度「電話担当について」話し合いが行われてきました。年末より「担当を一人にしないキャンペーン」が実施され、協力体制を強めています。年末年始の強化期間では担当枠ひとりにはひとつもありませんでした。相談員全体の意識の高まりと、仲間を思う気持ちの表れだと、ベルの会でも成果が発表されました。

### 22期養成講座募集が始まりました

多くの関係各機関にも募集要項が送られ、応募が待たれるところです。

相談員の方々も、募集要項をかかわりのあるところへ届けてくださっています。

たくさんの方に「いのちの電話」の活動をご理解いただき、活動に参加されることを期待して、応募を待つ毎日です。

キャンペーンは続行し、今、「花いっぱい運動」が展開されています。「担当をひとりにしない」という気持ちを込めて花を作り、横断幕が花で飾られています。厳しい状況の中でのがんばりが続き、事務局の支援にも力が入ります。

事務局には、相談員の方から届けられた水仙の良い香りが漂い、一刀彫りのひな人形も飾られ、雰囲気や和ませてくれています。

差し入れのおやつや、お茶を飲みながらの談話にも花が咲きます。

近くの早咲きの桜も3月中旬には美しい花を咲かせます。事務局も花いっぱいにして春を迎えたいものです。

### 賛助会員を募集しています

#### ご協力をお願いします

社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円 (2) 賛助会員（年間1口）A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円  
(3) 一般募金はご自由な金額で結構です (4) 夏期及び歳末寄付の特別募金

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会 口座番号 三菱東京UFJ銀行大津町支店（普）477029  
郵便振替口座 00810-8-53758

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

2013年3月

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

事務局 ☎ 052-508-8381 FAX052-508-8384

<http://www.nagoya-inochi.jp/> E-Mail [info@nagoya-inochi.jp](mailto:info@nagoya-inochi.jp)

相談電話 ☎ 052-931-4343 携帯相談電話 NTT ドコモ東海「# 9556」

2013年3月1日発行

発行人 小山 勇

編集人 愛知いのちの電話

協会事務局